



ライフライン事情

5月後半は北海道も暑い日が多かったようですね。パラオは5月から雨季になり、雨の日が多くなると聞いていましたがそんなことは一切なく…雨が降らないことによる水不足が心配されるほどでした。ただ、5月最後の週末はグアムを直撃した台風の影響ですっと大雨でした。グアムには多くのパラオ人が住んでいることもあり、その際にはパラオからグアムに無料で国際電話ができるようになっていました。

今回はそんな背景から、パラオのライフラインや生活事情を紹介したいと思います。日本との違いも色々あります。生活をイメージしてみてください。

【パラオのライフライン事情】



水道水は飲めませんが、断水になることもなく安定しています。飲み水はミネラルウォーターを買うか、沸騰させて麦茶を作っています。私のアパートはお湯が出ないので、シャワーも水です。



電気代はプリペイド式です。電気使用量を購入し、番号を家のメーターに打ち込みます。たまに計画停電があったり、大雨の日には停電することもあります。基本的には安定しています。



プリペイド式でエアタイムと呼ばれるカードを購入し、番号を入力することでデータプランを使うことができます。夜や雨の日は通信が不安定になりますが、基本的にはどこも4Gです。



ほとんどのアパート、一般家庭には洗濯機がありませんが、ランドリーがあちこちにあります。ランドリーに出すと乾燥までしてくれて1回7ドル。高いので、手洗いもしながらです。

【パラオ日記】

★先日、ずっとやってみたかったBasket weaving (かご編み) の教室に行ってきました！パラオ人の女性が先生として教えてくれましたが、その方は小さい頃からおばあちゃんに教えてもらって何千個とかごを作ってきたそうです。さすが、編む速さが違う！！慣れた手つきでかごを編んでいました。丁寧に編み方を教えていただきましたが、不器用すぎて全然大丈夫でできず…最後は先生にアシストしてもらい、何とか完成しました！今は家でお菓子を入れるのに使っています。



👉葉っぱ1枚ずつ丁寧に編み込んでいきます。これがなかなか難しい…手こずりました。

★パラオではよく無料で参加できるランニングのイベントが開催されています。先日、朝5時半スタートの5kmマラソンに初めて参加してみました。朝5時半ということで、真っ暗な中でのスタート。橋を走っているときには朝日がきれいに見えました。終了後にはフルーツが無料で食べられたり、お揃いのTシャツが配られました。ちなみに参加者は150人くらい。すぐに歩く人も多いため、全体の17番目でゴールしました。楽しかったです！



パラオの小規模校の様子を見てみよう！

パラオには公立・私立合わせて16の小学校があります。そのうち、陸続きのコロール島・バベルダオブ島にあるのが10校、それ以外の6校は船に乗らなければ行くことのできない島にある学校です。今月初め、出張ということでコロール島から船で2時間ほど北に行った場所にあるカヤンゲル島と1時間半ほど南に行った場所にあるアンガウル島という2つの島の小学校を訪ねました。



【アンガウル島】

アンガウル島は人口およそ120人の島です。アンガウル小学校には1年生から8年まで20人ほどが在籍しています。アンガウル島では第二次世界大戦中、「アンガウルの戦い」と呼ばれる上陸戦が行われていました。その名残もあり、学校の図書室には戦時中の写真などが多く飾られていました。昼休み後、生徒たちが教室に行っと思いきや…熟睡中。アンガウル小学校では、食後に15分間の睡眠休憩があるそうです。14時頃の暑い時間から始まった全校体育。この日は学校発着で3kmを走るという内容…私も一緒に走りましたが、暑さでへとへとになりながらなんとかゴール。そんな中で、小1の男の子が3kmを走り切っていました…たくましい！



【カヤンゲル島】

カヤンゲル島は人口およそ50人の島です。学校の目の前がとてもきれいな海で景色が最高でした。カヤンゲル小学校には1年生から8年まで10人ほど、高校生が2人いました。（島に住んでいる生徒の中には、高校が遠くて通えないため、オンラインで授業を受けている高校生がいます。）先生の人数も少ないため、校長先生が英語と体育を兼任しているそうです。これまた午後の暑い時間に始まった全校体育のサッカー。小1の小さな女の子と高3の大きな男の子が同じフィールドでプレーをしていたのには驚きました。それでもアグレッシブに動く生徒たち…たくましい！

